

施工前

表面保護コンクリートが剥落し、積み石や間詰め材の脱落が発生していました。

護岸上に沿って大型車が通行する道路があり、道路が一部崩落する危険性もある為、緊急の補修が必要な状態です。

補修箇所は河口付近で潮位の変動が大きく、満潮時には水面下となります。

従来のコンクリート工法では鋼矢板を設置して水を抜く為に、重機やその作業日数が必要になります。

またコンクリートの養生期間も必要になり、この様な小規模な緊急補修には対応しにくい場合があります。

EAGLE8なら海中に直接打設可能で超速硬性の為、重機を使わずに2日間で工事が完了します。



護岸高さ2.6m 水位:干潮時0.3m 満潮時2.5m
補修範囲 幅:4m 高さ:2.5m 欠損部深さ0.8m
河口部の汽水域。周囲の川床は砂地。
コンクリート製堰堤基礎は水面下30cm



内部の石積みが崩落し、徐々に間詰め材の砂利なども流出している。
サザエ、牡蠣、フジツボ等が繁殖している。
下地処理として施工範囲内の付着物は除去。

施工中



金属製残置式型枠と樹脂パネルを使用し、川床から1m部分の高さまで打設。

打設厚さは100mm

型枠設置作業は干潮前後の2時間で完了。



EAGLE8専用練り機を使用して連続で流し込み打設。
EAGLE8は海水中へ直接打設しても超速硬性を発揮します。



施工機材と資材。機材は2トン車1台弱。
 打設量1㎡(2トン)以下であれば4トン車1台に機材・資材が積載可能。
 重機を必要としないコンパクトな施工体制。



欠損部は型枠を当て、空隙が発生しない様に下部より充填していきます。
 型枠端部は粘土などで隙間埋めをしておきます。

施工後



元請企業様のコメント

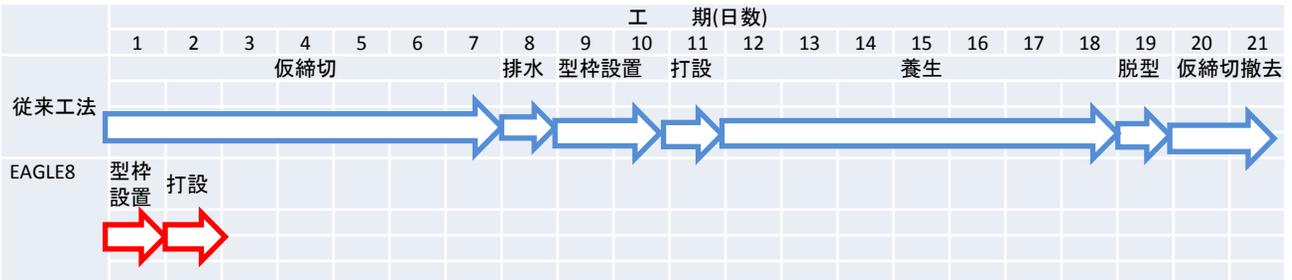
工期も予算も限られた中で様々な材料・工法を検討したが、短い工期に対応できる企業・施工方法が無かった。

水中で硬化する性能と超速硬性を持つEAGLE8に出会い、役所の承認を得た段階で工期は既に数週間しか残されていなかった。

初めて使う素材で不安は有ったが、水中での硬化を確認できた時には安心した。

材料単価は高いが、短い工期と重機など大型資材・機材が不要な点は緊急補修には大きなメリットがある。

工程比較



護岸、堰堤、用水路などの緊急補修に、EAGLE8による小規模補修をご活用ください。